2027年度

大学院学生募集要項

社会学研究科
博士(前期)課程・博士(後期)課程

保健科学研究科
博士(前期)課程・博士(後期)課程

心理学研究科
博士(前期)課程・博士(後期)課程

地域創成農学研究科
博士(前期)課程・博士(後期)課程

学校法人　順正学園

吉備国際大学

〒700-0022　岡山県岡山市北区岩田町2-5
吉備国際大学　入試広報室
TEL(086)231-3600(直通)
FAX(086)231-3601(直通)

個人情報の取り扱いについて

本学では、資料請求や出願書類の受付などにより得た「個人情報」を、入学試験の合否発表の資料として利用することは当然ですが、合格者への入学手続及び入学に関連した案内発送などにも利用させていただきます。

また、不合格者ならびに入学辞退者の「個人情報」は、一定期間保管・管理した後に適切に削除いたします。

なお、本学を運営する順正学園では、各設置校が保有する「個人情報」の適正な収集、利用、管理、保護を目的とする「順正学園個人情報保護規程」を制定し、個人情報の保護に努めております。

学校法人　順正学園　建学の理念

学生一人ひとりのもつ能力を
最大限に引き出し引き伸ばし、
社会に有為な人材を養成する

創立者　加　計　　勉

目　　次

個人情報の取り扱いについて

Ⅰ　共通事項
1．大学院の三つのポリシー …… 1
2．募集課程・募集定員及び修業年限 …… 4
3．募集日程 …… 4
4．出願資格 …… 5
5．入学検定料等 …… 5
6．志願票記入例 …… 6
7．入試会場 …… 7

Ⅱ　社会学研究科　社会学専攻　博士（前期）課程・博士（後期）課程
ⅰ　募集要項
1．募集課程・募集定員及び修業年限 …… 11
2．選考方法及び試験時間割 …… 11
3．入試会場 …… 12
4．出願書類等 …… 12
5．出願方法及び出願先 …… 13
6．合格発表及び入学手続 …… 14
7．学費（2027年度） …… 15
8．社会学研究科博士（前期）課程の概要・カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度） …… 16
9．社会学研究科博士（後期）課程の概要・カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度） …… 18

Ⅲ　保健科学研究科　保健科学専攻　博士（前期）課程・博士（後期）課程
ⅰ　募集要項
1．募集課程・募集定員及び修業年限 …… 23
2．選考方法及び試験時間割 …… 23
3．入試会場 …… 23
4．出願書類等 …… 23
5．出願方法及び出願先 …… 24
6．合格発表及び入学手続 …… 25
7．学費（2027年度） …… 25
8．保健科学研究科博士（前期）課程の概要・カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度） …… 26
9．保健科学研究科博士（後期）課程の概要・カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度） …… 30

Ⅳ　心理学研究科　心理学専攻　博士（前期）課程・博士（後期）課程
ⅰ　募集要項
1．募集課程・募集定員及び修業年限 …… 35
2．選考方法及び試験時間割 …… 35
3．入試会場 …… 35
4．出願書類等 …… 35
5．出願方法及び出願先 …… 36
6．合格発表及び入学手続 …… 37
7．学費（2027年度）…… 37
8．心理学研究科博士（前期）課程の概要・カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）…… 38
9．心理学研究科博士（後期）課程の概要・カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）…… 41

Ⅴ　地域創成農学研究科　地域創成農学専攻　博士（前期）課程・博士（後期）課程
ⅰ　募集要項
1．募集課程・募集定員及び修業年限 …… 45
2．選考方法及び試験時間割 …… 45
3．入試会場 …… 45
4．出願書類等 …… 46
5．出願方法及び出願先 …… 47
6．合格発表及び入学手続 …… 47
7．学費（2027年度）…… 49
8．地域創成農学研究科博士（前期）課程の概要・カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）…… 49
9．地域創成農学研究科博士（後期）課程の概要・カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）…… 54

Ⅰ　共通事項

1．大学院の三つのポリシー

研究科名称	学位授与方針（ディプロマポリシー）	教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）	学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）
社会学研究科　社会学専攻　博士（前期）課程	グローバル化の進む中で、多様な民族と社会との交流、および地域社会と産業とが急激に変化する過程を比較社会学、地域社会学、産業社会学さらにスポーツ社会学の理論と調査方法に基づいて記述、分析し解釈する能力を修得した人。そして、それらの高度な知識と能力を中学校・高等学校の社会科教員として（専修免許状の取得）、また大学等の高等教育機関における教員､留学生にあっては教員、研究員、国際交流員などの職務を遂行することが出来る人に修士（社会学）の学位を授与します。	グローバル化に伴う様々な変化の過程を研究する上で必要な比較社会学群、地域社会論群、産業社会論群およびスポーツ社会論群を配置しています。加えるに、社会調査法および文献研究を共通選択科目として選ぶことが出来るよう開講します。これらの専門的で高度な研究により、大学院生がグローバル化、情報化、少子高齢化の進展により変化していく過程で生まれる多様な問題を指摘、分析、解釈出来るように指導します。	比較社会学、地域社会学、産業社会学、スポーツ社会学および社会調査法を修得することにより、急激に変化する国際社会に起きている様々な問題を指摘し、調査、分析する社会学的な専門知識と技術を身につけ、この分野の研究者または教育者を志している人です。また、社会科教員一種免許状の取得者が、より高度の専門知識と能力を身に付け専修免許状を取得し、これを教壇で活かしたいと考えている人も求めています。
社会学研究科　社会学専攻　博士（後期）課程	比較社会学の理論と方法に基づいて地域社会および産業社会を対象に、自立して調査研究を行うことの出来る人。また、高度な専門的業務に必要な技術と研究能力を取得し、高等教育機関の教育者、または研究機関の研究者として業務を遂行出来る能力を取得した人に博士（社会学）の学位を授与します。	グローバル化に伴って起きている急速な変化を研究する上で必要な比較社会論､地域社会論、および産業社会論を配置しています。主な研究領域は、社会・文化、地域社会、および産業における制度と行動の変容過程です。本課程のカリキュラムは、社会学研究指導を中心としますが、社会学と密接に関連する他の人文・社会科学を包摂して指導します。	グローバル化の進む現代の国際社会で、社会学の理論と調査方法に基づいて民族と社会および地域と産業に起きる様々な問題を分析し、場合により対応策を検討、提示出来得る研究者を志す人です。
保健科学研究科　保健科学専攻　博士（前期）課程	保健科学に関わる体系的な知識を修得するとともに、保健科学を推進するために必要な研究法を体得し、国内外で活躍できる指導的職業人として、教育や実務を遂行することができる能力を修得した人に修士(保健学)の学位を授与します。また、看護学を専攻し、教員の免許状取得のための科目を修得した人に高等学校（看護）専修免許、養護教諭専修免許を授与します。	保健科学分野における学際的知識、研究方法論、看護学・理学療法学・作業療法学等の最新知見を陶冶し、本分野の研究課題を明確にします。また、演習を通じてその研究課題を解決するためのストラテジーを学習できるようにします。そして、特別研究を開講して、実証的な姿勢に基づくデータの解析法や実験の進め方についての統合的なトレーニングを、大学院生個々に行います。	保健科学（看護学・理学療法学・作業療法学など）に関わる体系的な知識と保健科学研究法を修得し、保健科学的課題の解決のための資質を養い、国内外で活躍できる研究者・教育者・指導的職業人を志している人です。また、高等学校教諭一種免許（看護）や養護教諭一種免許状の取得者が、より高度の専門知識と能力を身に付け専修免許状を取得し、これを教育活動で活かしたいと考えている人も求めています。

研究科名称	学位授与方針（ディプロマポリシー）	教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）	学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）
保健科学研究科　保健科学専攻 博士（後期）課程	保健科学に関わる知識や、対象となる人々の問題を具体的に解決していくために必要な能力とその基盤となる学識を身につけ、保健科学を推進するために必要な研究法を総合的に体得し、研究者、教育者として自立して活動する能力を修得した人に博士（保健学）の学位を授与します。	研究成果に基づいた質の高い保健医療を提案する能力を身につけるために、高度な保健科学領域（基礎・臨床・地域・看護）に関わる体系的知識を修得させるための科目を開講します。さらに、特殊研究を開講して、実証的な姿勢に基づくデータの解析法や実験の進め方についての統合的なトレーニングを行い、保健医療分野の専門職業人の教育を行うための研究者、教育者の育成を目指します。	保健科学（看護学・理学療法学・作業療法学など）に関わる知識と研究法を総合的に修得し、更なる向上心を持って国内外で自立して活躍できる研究者･教育者を志している人です。
心理学研究科　心理学専攻 博士（前期）課程	以下のような能力を身につけた人に修士（心理学）の学位を授与します。 ⑴　心理過程を客観的に捉えるための方法論（観察・実験・調査等）に基づいて、当該分野で新たな所見と解釈を論理的な文章で記述し、心理学界の研究の発展に斬新な視点を導入した人（心理学コース）。 ⑵　心理学の知見に基づいて、心理支援を必要とする者の心理アセスメントや相談・援助を実施すると共に、要援助者の関係者への支援を実践し、国民の心の健康の保持増進に努めることができる人（公認心理師コース）。	「心理学コース」と「公認心理師コース」の２コースを設けています。入学者は、いずれかを選択しますが、両者に共通なのは、研究を推進していくために必要な「心理学研究法特論」と修士論文作成のための「特別研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」の修得です。 「心理学コース」では、特定の条件の下で示される意識や行動の客観的な記述・測定・分析を通して、心理学的な理論の検証を推し進めていくための高度な方法論が修得可能です。 「公認心理師コース」は、教育、保健・医療、福祉、司法・犯罪、産業の各分野における実践実習を充実させ、将来、国家資格である公認心理師となるための臨床的な実践力を養う上で重要なカリキュラムが配備されています。	蓄積された先行研究の心理学的知見における問題点を客観的かつ論理的に説明するための方法の考案、それに基づくdataの収集、結果の分析、論理的考察を通して、心理学界の理論的分野に新たなページを加えたいと考えている人には「心理学コース」を、また、心理学に関する専門的知識を応用し､保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業の領域で適用、実践したいと考えている人には「公認心理師コース」をそれぞれ用意し、門戸を開いています。
心理学研究科　心理学専攻 博士（後期）課程	以下のような能力を身につけた人に博士（心理学）の学位を授与します。 ⑴　実験・観察・調査等で得られたデータを科学的・客観的に分析し、専門的立場から考察・説明・解釈する能力がある人。 ⑵　心理学や、その応用分野において、専門的知識を修得するとともに、研究者として社会に貢献できる資質をもつと認められた人。 ⑶　博士課程において、今までに蓄積してきた専門的データを論理的に成文化し、心理学界の発展に寄与する成果を産出した人。	本課程におけるカリキュラムの中心は、３年間継続して行われる「心理学研究指導」です。博士論文の作成とそれに関連した高度な専門的能力をさらに錬磨する目的から開講されています。関連研究の概観、方法論の検討、データの解析、先行研究との比較・討論など、博論の構成に沿った論考を重ねます。このほか､「心理学基礎領域」と「心理学応用領域」の２領域から各１科目の計２科目以上を修得することによって、心理学全般の視野を養い、広範な方法論を検討できることがカリキュラムの特徴の１つです。豊かな学識を養うためのカリキュラムだといえます。	大学院修士課程修了時点で、特定の心理学の対象について既に新奇性のある所見を見出している人、あるいは既に修得している心理学の方法論を基礎に一層高度で専門的な研究を新たに行いたい人、さらには臨床心理学分野をはじめ、認知、教育、司法・犯罪・矯正、社会・産業・組織、芸術などの諸職域で得ている大量データを論理的に構成し、その専門性と新奇性の水準を博士論文のそれにまで高めようという目的をもつ、主体的で知性溢れる人を求めています。

研究科名称	学位授与方針（ディプロマポリシー）	教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）	学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）
地域創成農学研究科　地域創成農学専攻 博士（前期）課程	以下のような能力を身につけた人に修士（農学）の学位を授与します。 ⑴　栽培･育種学、植物保護学、食品機能開発化学、経済社会学、地域環境学、水圏生物学の６カテゴリーすべてにわたって広く知識を身につけていること。 ⑵　栽培･育種学、植物保護学、食品機能開発化学、経済社会学、地域環境学、水圏生物学の６カテゴリーのうち、１つのカテゴリーに関しては高度な専門知識の他、高度な専門技術と研究遂行能力を身につけていること。 ⑶　研究科が編成している栽培･育種学、植物保護学、食品機能開発化学､経済社会学、地域環境学、水圏生物学の６カテゴリーにおける特論、演習、専攻実験、研究演習、修士論文研究を通じて、地域創成や国際貢献に求められる様々な課題解決に取り組む力、企画力、思考力、判断力、及び、実践力と行動力を身につけていること。	本課程が編成した科目により、栽培･育種学、植物保護学、食品機能開発化学､経済社会学、地域環境学、水圏生物学の６カテゴリーに関する専門知識を広く学ぶとともに、学生は、選択した専門学術分野に所属し、栽培･育種学、植物保護学、食品機能開発化学、地域環境学、水圏生物学では、講義、演習、専攻実験を通じて当該分野の高度な専門知識と技術を習得し、経済社会学分野では、専攻実験を置かず、講義と２つの演習を通じて高度な専門知識を習得します。また、学生は所属した分野の教員との活発な話し合いのもと、修士論文研究に取り組み、論文を作成します。これにより、論理的思考法、実験技術、知識、科学倫理などを学ぶとともに、研究者としての素質を身につけることができます。	栽培･育種学、植物保護学、食品機能開発化学､経済社会学、地域環境学、水圏生物学の６カテゴリーを学ぶ基礎学力を有し、かつ幅広い視野と高い視野と高い倫理性を身につけたうえで、６つのカテゴリーの１つに関する研究を通じて農と食の持続的発展と地域社会の発展に貢献しようとする意欲を持つ人、地域社会における問題点を浮き彫りにし、その問題解決のための課題に果敢に挑戦する意欲のある人、国際社会における農と食の問題解決に必要なコミュニケーション能力を身につける意欲のある人を求めています。
地域創成農学研究科　地域創成農学専攻 博士（後期）課程	栽培・育種学、植物保護管理学、食品機能開発化学、地域経済社会学、地域環境保全学及び地域水産学に関わる６学術分野及びそれら分野の学際領域に関して深い学識を持ったうえで、世界トップレベルの先端研究を自立して行える能力と高い倫理性を有し、国際的に活躍できる能力を身につけた人に博士（農学）の学位を与えます。	栽培・育種学分野、植物保護管理学分野、食品機能開発化学分野、地域経済社会学分野、地域環境保全学分野及び地域水産学分野の主要６分野別とし、高度な研究を行うための知識を涵養する本研究科の各分野を網羅する科目として、専攻共通科目である「地域創成農水産学フロントライン」を必修科目に設定しており、６分野すべてで、それぞれの専門領域に関する「フロントライン」､「演習」､「学位論文研究」を提供する教育効果の高い科目構成としています。	栽培・育種学分野、植物保護管理学分野、食品機能開発化学分野、地域経済社会学分野、地域環境保全学分野及び地域水産学分野の６カテゴリーを学ぶ専門知識及び技術を有し、かつ幅広い視野と高い倫理性を身につけた上で、６つのカテゴリーの1つに関する研究を通じて、農水産と食の持続的発展と地域社会の発展に貢献しようとする意欲をもつ人、地域社会における問題点を浮き彫りにし、その問題解決のための課題に果敢に挑戦する意欲のある人、国際社会における農と食の問題解決に必要な高度学術研究遂行能力を身につける意欲のある人を求めています。

２．募集課程・募集定員及び修業年限
全研究科・全課程

募集定員

研究科名	専攻名	課程	募集定員	修業年限	対応入試区分
社会学研究科	社会学専攻	博士（前期）課程	12名	２年	Ⅰ期～Ⅳ期
		博士（後期）課程	４名	３年	博士後期課程
保健科学研究科	保健科学専攻	博士（前期）課程	６名	２年	Ⅱ期～Ⅳ期
		博士（後期）課程	３名	３年	博士後期課程
心理学研究科	心理学専攻	博士（前期）課程	15名	２年	Ⅰ期～Ⅳ期
		博士（後期）課程	２名	３年	博士後期課程
地域創成農学研究科	地域創成農学専攻	博士（前期）課程	４名	２年	Ⅰ期～Ⅳ期
		博士（後期）課程	２名	３年	博士後期課程

※専攻・課程ごとに入試日程が異なりますのでご注意下さい。
※募集定員に外国人留学生を含む。

３．募集日程（博士（前期）課程・博士（後期）課程）

入試区分	願書受付期間（消印有効）	入試日	合格発表日	入学手続締切日（必着）
Ⅰ期入試	2026年９月１日㈫ ～ 2026年９月14日㈪	2026年 ９月27日㈰	2026年 10月７日㈬	一次：2026年10月29日㈭ 二次：2026年12月15日㈫
Ⅱ期入試	2026年11月９日㈪ ～ 2026年11月24日㈫	2026年 12月６日㈰	2026年 12月16日㈬	一次：2027年１月８日㈮ 二次：2027年２月８日㈪
Ⅲ期入試 博士後期課程入試	2027年１月12日㈫ ～ 2027年１月25日㈪	2027年 ２月７日㈰	2027年 ２月17日㈬	一次：2027年３月１日㈪ 二次：2027年３月17日㈬
Ⅳ期入試	2027年２月10日㈬ ～ 2027年２月22日㈪	2027年 ３月７日㈰	2027年 ３月17日㈬	2027年３月24日㈬

※上記の他に学内推薦入試を実施。
※上記、Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期は、博士前期課程で募集します。
　なお、保健科学研究科は、Ⅰ期を除き実施します。
注）：外国人留学生は、本国からの関係書類の送付等に日数を要するので、願書受付期間にかかわらず、早期に提出すること。

４．出願資格

2027年３月31日までに以下のいずれかに該当し、研究科ごとに定められた要件を満たす者

●博士（前期）課程

①学校教育法第83条に定められた大学を卒業した者（2027年３月末までに卒業見込み者を含む）

②学校教育法第104条第７項の規定により、学士の学位を授与された者（入学時までに授与される見込み者を含む）

③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（2027年３月末までに修了見込み者を含む）

④文部科学大臣の指定した者

⑤外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者（2027年３月末までに修了見込み者を含む）

⑥我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者（2027年３月末までに修了見込み者を含む）

⑦大学に３年以上在籍し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、大学における所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本大学院が認めた者

⑧指定された専修学校に専門課程（修業期限が４年以上であることとその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る）を修了した者

⑨本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

●博士（後期）課程

①修士の学位又は専門職学位を有する者

②外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

③文部科学大臣の指定した者

④本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者

注１：外国人留学生に関しては、他に卒業大学・修了大学院、日本語能力、経費支弁能力、人物を問う。

※出願者は、可能な限り事前に（博士（後期）課程は12月末までに）研究指導を志望する教員と連絡を取り、研究内容などについて相談して下さい。志望する教員が不明の場合も事前にご連絡下さい。
連絡先：086-231-3600（入試広報室）　E-mail：koho@kiui.ac.jp

〈外国人留学生の出願資格に関する注意事項〉

①日本の在留資格取得、更新等が支障なく行うことができる者。

②大学院の講義を理解できる日本語能力試験（JLPT）Ｎ１レベルを有すること。

③経費支弁書及び添付が必要となる証明書類については、(種類が多いので）早い時期に余裕をもって準備しておくこと。

④経費支弁者が志願者本人以外であること。

⑤経費支弁者の預金残高証明に関しては、日本滞在費（学費や生活費）のおよそ２年間分を用意できていること。

⑥本学学部生の内で、学費滞納者は出願資格が認められないので、十分に注意すること。

５．入学検定料等

入学検定料　30,000円

志願票（A）～（D）に必要事項を記入のうえ、他の出願書類とともに本学所定の封筒に入れ、**簡易書留速達**にて**郵送**して下さい。

6．志願票記入例

入試コード：
受験する入試区分のコード番号を下表により記入してください。

［博士前期課程］

入　試　区　分	コード
Ⅰ期入試	１２
Ⅱ期入試	１３
Ⅲ期入試	１４
Ⅳ期入試	１５

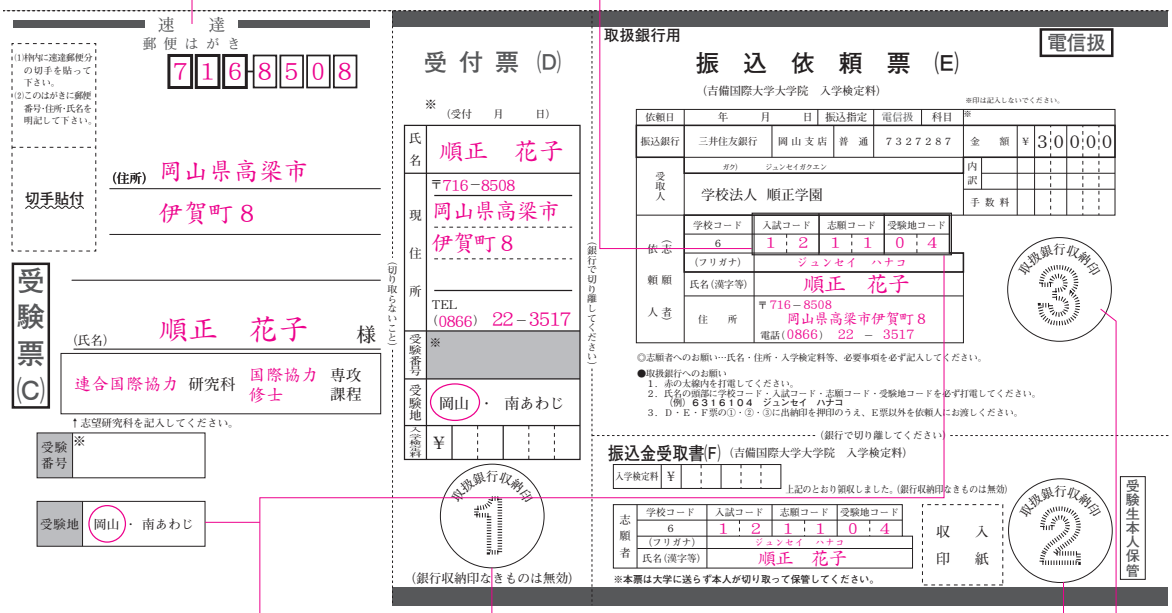
［博士後期課程］

入　試　区　分	コード
博士後期課程入試	２１

志望コード：
志望する研究科・専攻のコード番号を下表により記入してください。

研　究　科	・　専　攻	コード
社会学研究科	社会学専攻	１１
保健科学研究科	保健科学専攻	２１
心理学研究科	心理学専攻	４１
地域創成農学研究科	地域創成農学専攻	６１

受験票宛先：
(1)受験票が確実に届くように、郵便番号、住所、氏名を正確に記入してください。
(2)返信用切手速達郵便分を必ず貼ってください。



受験地コード：岡山は「04」・南あわじは「25」を記入してください。

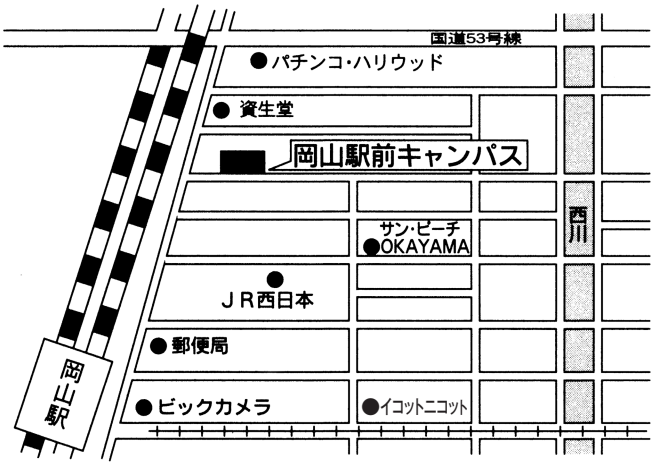
銀行収納印があるか必ず確認してください。

7．入試会場

＜社会学研究科・保健科学研究科・心理学研究科＞

入試会場	交通機関
順正学園《駅前キャンパス》 （岡山市北区岩田町２－５） ＜Ⅰ期～Ⅳ期＞ ＜博士後期課程＞	JR岡山駅から　徒歩約５分

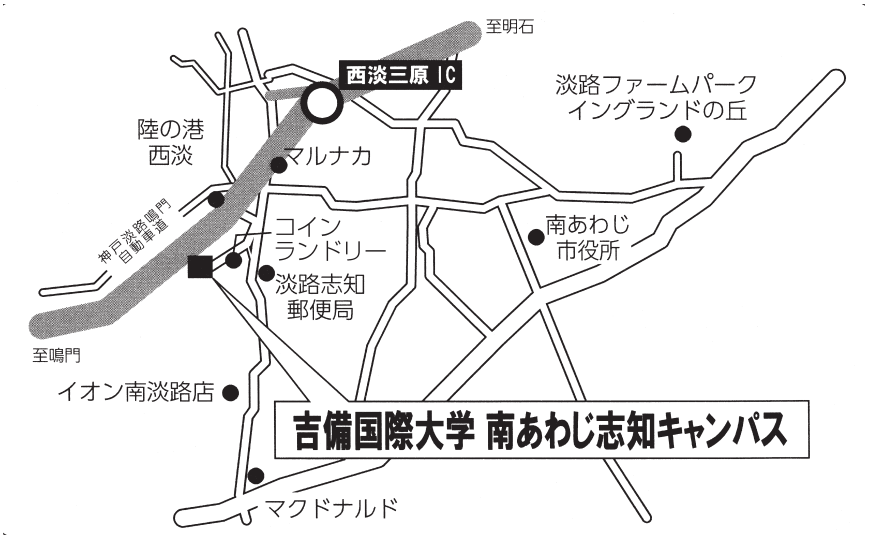
入試会場案内図



＜地域創成農学研究科＞

入試会場	交通機関
吉備国際大学《南あわじ志知キャンパス》 （南あわじ市志知佐礼尾370-1） ＜Ⅰ期～Ⅳ期＞ ＜博士後期課程＞	・西淡三原ICより車で約５分 ・高速バスターミナル「陸の港西淡」 下車、タクシーで約10分 徒歩で約20分

入試会場案内図



Ⅱ　社会学研究科　社会学専攻

博士（前期）課程・博士（後期）課程

i　募集要項

1．募集課程・募集定員及び修業年限

研　究　科	専　　攻	課　　程	募集定員	修業年限
社会学研究科	社会学専攻	博士（前期）課程	12名	2年
		博士（後期）課程	4名	3年

※募集定員には外国人留学生を含む。
※外国人留学生の出願については、共通事項の出願資格と併せて、社会学系大学の出身者であること。

2．選考方法及び試験時間割

(1)　社会学専攻　博士（前期）課程

筆記試験、面接、書類審査を総合して選考する。

※成績優秀者を特待生として選考する。該当者へは合格発表時に通知する。

①一般

時　　間	試　　験　　内　　容
9：30～	受験上の注意、受験者の確認
9：40～10：40	社会学概論
10：50～11：50	英語（辞書持ち込み可、ただし電子辞書は不可）
12：00～	面接（専攻分野・研究分野について）

※社会人対象者は、事前申告により英語の筆記試験に代えて、社会学についての小論文（1,000字程度）を選択することができる。

②外国人留学生（国内）

時　　間	試　　験　　内　　容
9：30～	受験上の注意、受験者の確認
9：40～10：40	社会学概論（日本語による）
10：50～	面接（専攻分野・研究分野について）

※外国人留学生の入試は日本国内の在住者が対象。
※日本国外の在住者については、日本国外で入試を実施する予定が無いので、出願する前に受験可能かどうか、事前に確認し、来学して受験すること。

⑵　社会学専攻　博士（後期）課程

筆記試験、口頭試問、書類審査を総合して選考する。

※成績優秀者を特待生として選考する。該当者へは合格発表時に通知する。

時　　間	試　　験　　内　　容
9：30～	受験上の注意、受験者の確認
9：40～10：40	社会学概論（論文式）
10：50～11：50	英語（辞書持ち込み可、ただし電子辞書は不可）
12：00～	面接（提出論文を中心とする）

※外国人留学生受験生については、「英語」の試験成績を選考上、参考扱いとする。

３．入試会場

順正学園　駅前キャンパス（岡山市北区岩田町２-５）

※入試会場については７ページを参照。

４．出願書類等

⑴　博士（前期）課程・博士（後期）課程

①志願票・受験票【本学所定用紙】

②成績証明書（厳封したもの）

③**【博士（前期）課程】**卒業(見込み)証明書、**【博士（後期）課程】**修了(見込み)証明書

④**【博士（前期）課程】**卒業論文概要、又はそれに相当するもの。社会人対象者で、「英語」の代わりに「社会学についての小論文」を申請した者は、それについての報告書。以上任意のＡ４判用紙１～２枚程度に論文形式で記述すること。

【博士（後期）課程】修士論文の写し、又は実社会における研究活動報告書

⑤研究計画書【本学所定用紙】

⑥健康診断書（任意の医療機関の様式で可。本学学部生・修士生は、大学学生課が発行する健康診断証明書で可）

※検診例（身長、体重、視力、聴力、尿検査、Ｘ線検査、診察所見など）

⑦返信用宛名シール

⑧入学検定料　30,000円

※社会人として受験する場合には、勤務先等の長の受験許可書（様式は任意）を添付すること。添付できない場合には、その事情を任意の用紙へ記入して提出すること。

※外国人留学生は、上記①～⑦の他に次のａ～ｈの書類を提出すること。

ａ．学歴・職歴・過去の日本国への入国歴について【本学所定用紙】

ｂ．住民票（在留カードの表裏それぞれのコピーでも可）

ｃ．経費支弁書（学納金の納入者自身が支弁方法を記入すること。外国語でも可能）

ｄ．経費支弁書の添付書類(本学所定の経費支弁書に記入された証明書類を添付すること。

「支弁者在職証明書」・「支弁者預金残高証明書」・その他）

e．日本語能力を確認する書類（日本語能力認定書のコピー又は本学所定用紙・本学出身者は省略可）

f．日本国内の在学校が発行する外国人留学生推薦書【本学所定用紙】（本学学部出身者は省略可）

g．身元保証書【本学所定用紙】（本学学部から直接進学する者は省略可。但し、一旦帰国・就職・他大学への進学をした者は提出が必要）

h．その他、本学が指示する書類（必要により、追って指示する）

5．出願方法及び出願先

(1) 出願方法

前項4．の出願書類一式を「簡易書留速達」で郵送するか、持参して下さい。出願書類受付完了後、受験票を送付します。

※身体的理由等により、受験の際に特別な配慮が必要となる場合は、出願1ヶ月前までに入試広報室へ相談して下さい。

※外国人留学生への、出願手続・合格発表・入学手続・入学許可書交付等は、原則として在学校・保証人・事前に定めた連絡窓口等を通して行います（本学学部生は、本人から直接受け付けます）。第三者による取次はできませんので御注意下さい。

※外国人留学生に対し、入学許可書を発行する時期は、入学手続の締切日以降となります。在留資格更新の期限等に差し支える場合には、出願前に入試広報室へ相談して下さい。

※本研究科へ出願する場合、事前（博士（後期）課程は12月末まで）に必ず入試広報室へお問い合わせ下さい。
計画している研究内容について、事前に本研究科の指導希望教員と打ち合わせて頂く事が必要です。

(2) 出願先

〒700-0022　岡山県岡山市北区岩田町2－5

吉備国際大学　入試広報室

６．合格発表及び入学手続

⑴　合格発表

合否結果については、合格・不合格にかかわらず本人宛に郵便で通知し、学内掲示による合格者の発表は行いません。なお、電話等による合否の問い合わせには応じられません。

※外国人留学生は、原則として在学校・保証人・事前に定めた連絡窓口等へ通知します（本学学部生へは本人宛に郵便で通知します）。第三者からの問い合わせには応じられません。

⑵　入学手続

合格者には、合格通知とともに「入学手続の手引」を送付しますので、よく読んで指定の期日までに手続を完了して下さい。期日までに手続が完了されない場合は、入学辞退として取り扱います。

⑶　入学辞退

Ⅰ期～Ⅳ期＜博士前期＞、博士後期課程＜博士後期＞で合格し、入学手続後に入学を辞退し、納付金の返還を希望する者は、2027年３月31日㈬16時までに所定の申請書と入学辞退届（任意のＡ４判様式）を提出して下さい。返還申請書を確認後、入学金以外の春学期（前期）分学費を返還する処置をとります。

※上記の日時までに返還申請書の提出がなかった場合は返還できませんのでご注意下さい。

〈一般・社会人〉

①学費の納入

入学手続締切日までに、本学所定の振込用紙で指定銀行へ納入して下さい。

※入学手続時の学費納入は、入学金と春学期納付金（前期分）の授業料の合計額を納入いただきます。

②提出書類

2027年３月23日㈫までに、次の書類を提出して下さい。

ａ．誓約書【本学所定用紙】

ｂ．写真１枚（縦４cm×横３cm）

ｃ．**【博士（前期）課程】**卒業証明書、**【博士（後期）課程】**修了証明書

※出願時に見込み証明書を提出した者のみ。

ｄ．その他本学が指示する書類

〈外国人留学生〉

（日本国内の在住者）

①学費の納入

入学手続締切日までに、本学が指定する口座へ、経費支弁者等から銀行送金して下さい。

口座番号等は、「入学手続の手引」にてお知らせします。

送金状況や送金名義が本学で確認できるように、銀行の送金伝票をFAXして下さい。

なお、現金の受付は原則としてできませんので、注意して下さい。

②提出書類

入学手続締切日までに、学費の納入と同時に、次の書類を提出して下さい。

a．誓約書【本学所定用紙】

b．経費支弁者誓約書【本学所定用紙】

c．写真１枚（縦４cm×横３cm）

d．出身校の卒業（修了）証明書：卒業後（修了後）に提出

e．住民票（在留カードの表裏それぞれのコピーでも可）：在留資格更新、住所変更後に提出

f．その他本学が指示する書類

入学許可書の発行について

入学許可書は、入学手続の締切日以降に、入学手続が完了している者へ在学校・保証人を通じて（本学学部生は現住所へ）、郵送します。原則として窓口での交付はしません。

又、経費支弁能力等に疑義が認められた場合や提出書類に不備がある場合は、入学許可書の発行を中止することがあります。

なお、在留資格の更新にあたっては、在学校担当部署にもよく相談の上、手続をすすめて下さい。

（日本国外の在住者）

出願がなされた段階で、別途、日程等を案内します。

７．学費（2027年度）

博士（前期）課程・博士（後期）課程

入　学　金	140,000	単位：円	
費　目	春学期納付金（前期分）	秋学期納付金（後期分）	合　計
授　業　料	433,000	433,000	866,000
合　計	433,000	433,000	866,000

※本学学部からの博士（前期）課程進学者及び本学博士（前期）課程からの博士（後期）課程進学者は、入学金を免除します。

８．社会学研究科博士（前期）課程の概要・カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）

社会学研究科博士（前期）課程の概要

わが国は、他の先進産業社会と同じように、グローバル化、情報化、高齢化の進展にともなって社会構造の変動に直面して、多様な社会問題が生まれその解決が緊急の課題となっている。

本専攻は、グローバル化に相互依存する国際社会の中で、民族と文化ならびに、産業と地域社会、スポーツを取り巻く社会的な認識が変化していく過程を、比較社会学の理論と方法にもとづいて研究・教育することを目的としている。このため本学社会学専攻は、比較社会学理論と調査方法を中心とする比較社会学群を始めとして、その上に地域社会論群、産業社会論群及びスポーツ社会論群を設けている。各群には、次の特殊講義と研究演習が開設されている。また、共通選択科目群が開設されている。

比較社会学群

比較社会学特殊講義Ⅰ	比較社会学特殊講義Ⅱ	比較社会学特殊講義Ⅲ
比較社会学特殊講義Ⅳ	比較社会学特殊講義Ⅴ	比較社会学特殊講義Ⅵ
比較社会学特殊講義Ⅶ	比較社会学特殊講義Ⅷ	

地域社会論群

地域社会論特殊講義Ⅰ	地域社会論特殊講義Ⅱ	地域社会論特殊講義Ⅲ
地域社会論特殊講義Ⅳ	地域社会論特殊講義Ⅴ	地域社会論特殊講義Ⅵ
地域社会論特殊講義Ⅶ	地域社会論特殊講義Ⅷ	

産業社会論群

産業社会論特殊講義Ⅰ	産業社会論特殊講義Ⅱ	産業社会論特殊講義Ⅲ
産業社会論特殊講義Ⅳ	産業社会論特殊講義Ⅴ	産業社会論特殊講義Ⅵ
産業社会論特殊講義Ⅶ	産業社会論特殊講義Ⅷ	

スポーツ社会論群

スポーツ社会論特殊講義Ⅰ	スポーツ社会論特殊講義Ⅱ	スポーツ社会論特殊講義Ⅲ
スポーツ社会論特殊講義Ⅳ	スポーツ社会論特殊講義Ⅴ	スポーツ社会論特殊講義Ⅵ
スポーツ社会論特殊講義Ⅶ	スポーツ社会論特殊講義Ⅷ	

共通選択科目

社会調査法演習Ⅰ	社会調査法演習Ⅱ	社会調査法演習Ⅲ
文献研究Ⅰ	文献研究Ⅱ	文献研究Ⅲ
文献研究Ⅳ		

本専攻修了者の進路としては、博士（後期）課程進学、中学校・高等学校の社会科教員、大学、短大、高等専門学校における教育・研究職員、研究員、教員、国際交流職員など、高度な社会的知識と技術をもつ専門職の人材育成を目的としている。

カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）

表の見方
1．◎は必修科目、○は選択科目を示す。

●社会学研究科　社会学専攻　博士（前期）課程

	授業科目名	単位数	職名	担当教員氏名
比較社会学群	○比較社会学特殊講義Ⅰ	2	教授	赤坂真人
	○比較社会学特殊講義Ⅱ	2	教授	赤坂真人
	○比較社会学特殊講義Ⅲ	2	教授	佐野淳也
	○比較社会学特殊講義Ⅳ	2	教授	佐野淳也
	○比較社会学特殊講義Ⅴ	2	准教授	倉知典弘
	○比較社会学特殊講義Ⅵ	2	准教授	倉知典弘
	○比較社会学特殊講義Ⅶ	2	准教授	倉知典弘
	○比較社会学特殊講義Ⅷ	2	准教授	倉知典弘
地域社会論群	○地域社会論特殊講義Ⅰ	2	非常勤講師	高橋正巳
	○地域社会論特殊講義Ⅱ	2	非常勤講師	高橋正巳
	○地域社会論特殊講義Ⅲ	2	教授	姜明求
	○地域社会論特殊講義Ⅳ	2	教授	姜明求
	○地域社会論特殊講義Ⅴ	2	教授	福本章
	○地域社会論特殊講義Ⅵ	2	教授	福本章
	○地域社会論特殊講義Ⅶ	2	非常勤講師	岡崎郁子
	○地域社会論特殊講義Ⅷ	2	非常勤講師	岡崎郁子
産業社会論群	○産業社会論特殊講義Ⅰ	2	教授	姜明求
	○産業社会論特殊講義Ⅱ	2	本年度不開講	
	○産業社会論特殊講義Ⅲ	2	本年度不開講	
	○産業社会論特殊講義Ⅳ	2	教授	姜明求
	○産業社会論特殊講義Ⅴ	2	教授	福本章
	○産業社会論特殊講義Ⅵ	2	教授	福本章
	○産業社会論特殊講義Ⅶ	2	講師	竹岡志朗
	○産業社会論特殊講義Ⅷ	2	講師	竹岡志朗
スポーツ社会論群	○スポーツ社会論特殊講義Ⅰ	2	教授	高藤順
	○スポーツ社会論特殊講義Ⅱ	2	教授	高藤順
	○スポーツ社会論特殊講義Ⅲ	2	教授	天岡寛
	○スポーツ社会論特殊講義Ⅳ	2	教授	天岡寛
	○スポーツ社会論特殊講義Ⅴ	2	講師	上杉杏
	○スポーツ社会論特殊講義Ⅵ	2	講師	上杉杏
	○スポーツ社会論特殊講義Ⅶ	2	教授	山口英峰
	○スポーツ社会論特殊講義Ⅷ	2	教授	高原皓全

	授　業　科　目　名	単位数	職　名	担当教員氏名
各群共通選択科目	○社会調査法演習Ⅰ	2	教　授	黒　宮　亜希子
	○社会調査法演習Ⅱ	2	教　授	黒　宮　亜希子
	○社会調査法演習Ⅲ	2	教　授	黒　宮　亜希子
	○文献研究Ⅰ	2	教　授	姜　　明　求
	○文献研究Ⅱ	2	教　授	姜　　明　求
	○文献研究Ⅲ	2	教　授	黒　宮　亜希子
	○文献研究Ⅳ	2	教　授	黒　宮　亜希子
研究演習	◎社会学研究演習Ⅰ	2	教　授 教　授	指導教員　赤　坂　真　人 指導教員　天　岡　　寛
	◎社会学研究演習Ⅱ	2	教　授 教　授	指導教員　姜　　明　求 指導教員　黒　宮　亜希子
	◎社会学研究演習Ⅲ	2	教　授 教　授	指導教員　福　本　　章 指導教員　山　口　英　峰
	◎社会学研究演習Ⅳ	2	教　授 准教授	指導補助教員　高　原　皓　全 指導教員　倉　知　典　弘

博士（前期）課程修了要件

研究演習８単位、特殊講義群及び共通選択科目から24単位、合計32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査に合格しなければならない。

９．社会学研究科博士（後期）課程の概要・カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）

社会学研究科博士（後期）課程の概要

社会学研究科博士（後期）課程は、修士課程（※2017年度入学生からは博士（前期）課程）を基礎として平成９年４月に発足した。

本課程では、社会学の高度な専門研究者の養成を目的とし、教育課程は以下の通りである。

１．教育目標

大学院社会学研究科社会学専攻博士（後期）課程は､比較社会学の方法を用いて地域社会、産業社会を対象に、自立して調査研究を行うことの出来る人材、また高度な専門的業務に従事するに必要な研究能力と学識を有する人材の育成を目標とする。

具体的には

⑴　大学その他の教育・研究機関における研究者及び教員を養成する。

⑵　研究者に関しては、自立して調査研究を行うことの出来る者の養成を目的とする。

２．研究領域は、地域社会・文化・産業における制度と行動の変容過程の研究である。

本学の計画する社会学研究科博士（後期）課程のカリキュラムは比較社会論、地域社会論及び産業社会論における特殊研究と研究指導から構成される。そのカリキュラムは社会学研究指導を中心とするが、社会学と密接に関連する他の人文・社会科学を包摂する。

比較社会論

比較社会学特殊研究Ⅰ　比較社会学特殊研究Ⅱ　比較社会学特殊研究Ⅲ

比較社会学特殊研究Ⅳ

地域社会論

地域社会論特殊研究Ⅰ　地域社会論特殊研究Ⅱ　地域社会論特殊研究Ⅲ

地域社会論特殊研究Ⅳ

産業社会論

産業社会論特殊研究Ⅰ　産業社会論特殊研究Ⅱ　産業社会論特殊研究Ⅲ

産業社会論特殊研究Ⅳ

カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）

表　の　見　方
1．◎は必修科目、○は選択科目を示す。

●社会学研究科　社会学専攻　博士（後期）課程

	授業科目名	単位数	職名	担当教員氏名
比較社会論	○比較社会学特殊研究Ⅰ	2	教授	赤坂真人
	○比較社会学特殊研究Ⅱ	2	教授	赤坂真人
	○比較社会学特殊研究Ⅲ	2	教授	福本章
	○比較社会学特殊研究Ⅳ	2	教授	福本章
地域社会論	○地域社会論特殊研究Ⅰ	2	教授	黒宮亜希子
	○地域社会論特殊研究Ⅱ	2	教授	黒宮亜希子
	○地域社会論特殊研究Ⅲ	2	准教授	倉知典弘
	○地域社会論特殊研究Ⅳ	2	准教授	倉知典弘
産業社会論	○産業社会論特殊研究Ⅰ	2	教授	姜明求
	○産業社会論特殊研究Ⅱ	2	教授	姜明求
	○産業社会論特殊研究Ⅲ	2	教授	山口英峰
	○産業社会論特殊研究Ⅳ	2	教授	天岡寛
研究指導	◎社会学研究指導Ⅰ	2	教授	指導教員　赤坂真人
	◎社会学研究指導Ⅱ	2	教授	指導教員　姜明求
	◎社会学研究指導Ⅲ	2	教授	指導教員　福本章
	◎社会学研究指導Ⅳ	2	教授	指導補助教員　黒宮亜希子
	◎社会学研究指導Ⅴ	2	教授	指導補助教員　山口英峰
	◎社会学研究指導Ⅵ	2	教授	指導補助教員　天岡寛
			准教授	指導補助教員　倉知典弘

博士（後期）課程修了要件

研究指導12単位、特殊研究８単位、合計20単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査に合格しなければならない。

Ⅲ　保健科学研究科　保健科学専攻

博士（前期）課程・博士（後期）課程

i　募集要項

1．募集課程・募集定員及び修業年限

研　究　科	専　　攻	課　　程	募集定員	修業年限
保健科学研究科	保健科学専攻	博士（前期）課程	6名	2年
		博士（後期）課程	3名	3年

2．選考方法及び試験時間割

(1)　保健科学専攻　博士（前期）課程

筆記試験、面接、書類審査を総合して選考する。

※成績優秀者を特待生として選考する。該当者へは合格発表時に通知する。

時　　間	試　　験　　内　　容
9：30～	受験上の注意、受験者の確認
9：40～10：40	英語（辞書持ち込み可、ただし電子辞書は不可） 又は小論文のいずれかを選択
10：50～	面接

※小論文は、看護学・リハビリの2題から1題選択（600～800字程度）

(2)　保健科学専攻　博士（後期）課程

筆記試験、面接、書類審査を総合して選考する。

※成績優秀者を特待生として選考する。該当者へは合格発表時に通知する。

時　　間	試　　験　　内　　容
9：30～	受験上の注意、受験者の確認
9：40～10：40	保健科学概論（論文式）
10：50～11：50	英語（辞書持ち込み可、ただし電子辞書は不可）
12：00～	面接

3．入試会場

順正学園　駅前キャンパス（岡山市北区岩田町2－5 ）

※入試会場については7ページを参照。

4．出願書類等

(1)　博士（前期）課程・博士（後期）課程

①志願票・受験票【本学所定用紙】

②成績証明書（厳封したもの）

③**【博士(前期)課程】**卒業(見込み)証明書、**【博士(後期)課程】**修了(見込み)証明書

④**【博士(前期)課程】**卒業論文概要、又はそれに相当するもの（任意のA4判用紙に論文形式で記述すること）

【博士（後期）課程】修士論文の写し、又は実社会における研究活動報告書

※社会人は「現在取り組んでいるテーマ」で代えることができる（任意のＡ４判用紙に論文形式で記述すること）。

⑤研究計画書【本学所定用紙】

⑥健康診断書（任意の医療機関の様式で可。本学学部生は、大学学生課が発行する健康診断証明書で可）

※検診例（身長、体重、視力、聴力、尿検査、Ｘ線検査、診察所見など）

⑦返信用宛名シール

⑧入学検定料　30,000円

※社会人として受験する場合には、勤務先等の長の受験許可書（様式は任意）を添付すること。添付できない場合には、その事情を任意の用紙へ記入して提出すること。

５．出願方法及び出願先

(1)　出願方法

前項４．の出願書類一式を「簡易書留速達」で郵送するか、持参して下さい。出願書類受付完了後、受験票を送付します。

※身体的理由等により、受験の際に特別な配慮が必要となる場合は、出願１ヶ月前までに入試広報室へ相談して下さい。

※本研究科へ出願する場合、事前（博士（後期）課程は12月末まで）に必ず入試広報室へお問い合わせ下さい。
計画している研究内容について、事前に本研究科の指導希望教員と打ち合わせて頂く事が必要です。

(2)　出願先

〒700-0022　岡山県岡山市北区岩田町２－５

吉備国際大学　入試広報室

6．合格発表及び入学手続

⑴　合格発表

合否結果については、合格・不合格にかかわらず本人宛に郵便で通知し、学内掲示による合格者の発表は行いません。なお、電話等による合否の問い合わせは受け付けません。

⑵　入学手続

合格者には、合格通知とともに「入学手続の手引」を送付しますので、よく読んで指定の期日までに手続を完了して下さい。期日までに手続が完了されない場合は、入学辞退として取り扱います。

①学費の納入

入学手続締切日までに、本学所定の振込用紙で指定銀行へ納入して下さい。

※入学手続時の学費納入は、入学金と春学期納付金（前期分）の授業料の合計額を納入いただきます。

②提出書類

2027年３月23日㈫までに、次の書類を提出して下さい。

ａ．誓約書【本学所定用紙】

ｂ．写真１枚（縦４cm×横３cm）

ｃ．**【博士（前期）課程】**卒業証明書、**【博士（後期）課程】**修了証明書

※出願時に見込み証明書を提出した者のみ。

ｄ．その他本学が指示する書類

⑶　入学辞退

Ⅰ期～Ⅳ期＜博士前期＞、博士後期課程＜博士後期＞で合格し、入学手続後に入学を辞退し、納付金の返還を希望する者は、2027年３月31日㈬16時までに所定の申請書と入学辞退届（任意のＡ４判様式）を提出して下さい。返還申請書を確認後、入学金以外の春学期（前期）分学費を返還する処置をとります。

※上記の日時までに返還申請書の提出がなかった場合は返還できませんのでご注意下さい。

7．学費（2027年度）

博士（前期）課程・博士（後期）課程

入　学　金	140,000	単位：円	
費　目	春学期納付金(前期分)	秋学期納付金(後期分)	合　計
授　業　料	655,000	655,000	1,310,000
合　計	655,000	655,000	1,310,000

※本学学部からの博士（前期）課程進学者及び本学修士課程・博士（前期）課程からの博士（後期）課程進学者は、入学金を免除します。

８．保健科学研究科博士（前期）課程の概要・カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）

保健科学研究科博士（前期）課程の概要

本研究科は、看護学部看護学科、人間科学部人間科学科理学療法学専攻、および作業療法学専攻を基礎として設置されている。

わが国において、急速な人口の高齢化、QOLの向上、価値観の多様化、ストレスの増大等の諸問題に直面している中、少子・高齢社会の到来は、疾病構造の変化をともない、高齢者特有の疾病とケアは地域医療、社会福祉施策の関連において大きな社会問題となっている。一方、科学技術の発展は著しく、保健医療・福祉分野でも急速に発展しており、専門化と細分化が進み、それぞれの専門的知識と技術を有する専門的職業人が必要とされるようになった。

そこで本専攻は、保健科学分野における研究者、教育者としての必要な専門知識と技術を養うとともに、保健医療現場において、広い視野に立脚して専門的かつ指導的役割を果たし得る人材を養成することを目的としている。このため本研究科の教育課程は、次のとおり、「共通科目」、「専門選択科目」と「総合科目」の３群に分け、カリキュラムの体系化を図っており、各群には、次の特論と研究演習が開設されている。

共通科目

保健科学特論Ⅰ・Ⅱ	保健科学研究法特論Ⅰ・Ⅱ
内科学特論Ⅰ・Ⅱ	感染予防特論Ⅰ・Ⅱ
小児科学特論Ⅰ・Ⅱ	細胞・組織学特論Ⅰ・Ⅱ
教育方法技術特論Ⅰ・Ⅱ	

専門選択科目

基礎保健看護学特論Ⅰ	運動機能障害援助特論Ⅰ
基礎保健看護学特論Ⅰ演習	運動機能障害援助特論Ⅰ演習
基礎保健看護学特論Ⅱ	運動機能障害援助特論Ⅱ
基礎保健看護学特論Ⅱ演習	運動機能障害援助特論Ⅱ演習
母性・小児保健看護学特論Ⅰ	生活機能障害援助特論Ⅰ
母性・小児保健看護学特論Ⅰ演習	生活機能障害援助特論Ⅰ演習
母性・小児保健看護学特論Ⅱ	生活機能障害援助特論Ⅱ
母性・小児保健看護学特論Ⅱ演習	生活機能障害援助特論Ⅱ演習
成人・老年保健看護学特論Ⅰ	作業機能障害援助特論Ⅰ
成人・老年保健看護学特論Ⅰ演習	作業機能障害援助特論Ⅰ演習
成人・老年保健看護学特論Ⅱ	作業機能障害援助特論Ⅱ
成人・老年保健看護学特論Ⅱ演習	作業機能障害援助特論Ⅱ演習
広域保健看護学特論Ⅰ	心身機能障害援助特論Ⅰ

広域保健看護学特論Ⅰ演習　　心身機能障害援助特論Ⅰ演習
広域保健看護学特論Ⅱ　　心身機能障害援助特論Ⅱ
広域保健看護学特論Ⅱ演習　　心身機能障害援助特論Ⅱ演習

総合科目

特別研究Ⅰ・Ⅱ

本専攻修了者の進路としては、保健・医療・福祉関係機関の他、行政機関や大学等の教育研究機関など、高度な専門知識と技術を持つ専門職を必要とする分野を想定している。

カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）

●保健科学研究科　保健科学専攻　博士（前期）課程

授業科目名		配当年次	単位数 必修	単位数 選択	職名	担当教員氏名
共通	保健科学特論Ⅰ	1春	2		教授 教授 教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 准教授 准教授	片岡弘明 河村顕治 京極真 中瀬克己 原田和宏 森芳史 井上優 寺岡睦 安福真弓 兼田啓子
	保健科学特論Ⅱ	1秋	2		教授 教授 准教授 准教授	京極真 樋口博之 市村美香 狩長弘親
	保健科学研究法特論Ⅰ	1秋	2		教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 准教授 准教授	岩田美幸 掛谷益子 片岡弘明 河村顕治 京極真 中瀬克己 原田和宏 井上優 寺岡睦
	保健科学研究法特論Ⅱ	2春		2	教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授	磯濱亜矢子 掛谷益子 片岡弘明 河村顕治 京極真 中嶋正明 中瀬克己

授業科目名		配当年次	単位数 必修	単位数 選択	職名	担当教員氏名
共通	保健科学研究法特論Ⅱ	2春		2	教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授	原田和宏 森　芳史 山形真由美 鷲尾佳奈 井上茂樹 井上　優 狩長弘親 寺岡　睦 安福真弓
	内科学特論Ⅰ	1・2春		2	教授	片岡弘明
	内科学特論Ⅱ	1・2秋		2		
	小児科学特論Ⅰ	1・2春		2	教授	鷲尾佳奈
	小児科学特論Ⅱ	1・2秋		2		
	感染予防特論Ⅰ	1・2春		2	教授	前田洋助
	感染予防特論Ⅱ	1・2秋		2		
	細胞・組織学特論Ⅰ	1・2春		2	准教授	井上茂樹
	細胞・組織学特論Ⅱ	1・2秋		2		
	教育方法技術特論Ⅰ	1春		2	教授 教授 教授 教授 教授 准教授	岩田美幸 掛谷益子 京極　真 竹﨑和子 原田和宏 井上茂樹
	教育方法技術特論Ⅱ	1秋		2		
専門選択	基礎保健看護学特論Ⅰ	1春		2	教授 教授 准教授	掛谷益子 山形真由美 市村美香
	基礎保健看護学特論Ⅰ演習	2春		2		
	基礎保健看護学特論Ⅱ	1秋		2		
	基礎保健看護学特論Ⅱ演習	2秋		2		
	母性・小児保健看護学特論Ⅰ	1春		2	教授 准教授	鷲尾佳奈 安福真弓
	母性・小児保健看護学特論Ⅰ演習	2春		2		
	母性・小児保健看護学特論Ⅱ	1秋		2		
	母性・小児保健看護学特論Ⅱ演習	2秋		2		
	成人・老年保健看護学特論Ⅰ	1春		2	教授 講師	竹﨑和子 門倉康恵
	成人・老年保健看護学特論Ⅰ演習	2春		2		
	成人・老年保健看護学特論Ⅱ	1秋		2		
	成人・老年保健看護学特論Ⅱ演習	2秋		2		
	広域保健看護学特論Ⅰ	1春		2	教授 教授	磯濱亜矢子 中瀬克己
	広域保健看護学特論Ⅰ演習	2春		2		
	広域保健看護学特論Ⅱ	1秋		2		
	広域保健看護学特論Ⅱ演習	2秋		2		
	運動機能障害援助特論Ⅰ	1春		2	教授 教授 教授 教授 准教授 講師	河村顕治 中嶋正明 樋口博之 森　芳史 井上茂樹 熊岸加苗
	運動機能障害援助特論Ⅰ演習	2春		2		
	運動機能障害援助特論Ⅱ	1秋		2		
	運動機能障害援助特論Ⅱ演習	2秋		2		

授業科目名		配当年次	単位数 必修	単位数 選択	職名	担当教員氏名	
専門選択	生活機能障害援助特論Ⅰ	1春		2	教授 教授 准教授	片岡弘明 原田和宏 井上優	
	生活機能障害援助特論Ⅰ演習	2春		2			
	生活機能障害援助特論Ⅱ	1秋		2			
	生活機能障害援助特論Ⅱ演習	2秋		2			
	作業機能障害援助特論Ⅰ	1春		2	教授 教授 准教授 講師	岩田美幸 京極真 寺岡睦 三宅優紀	
	作業機能障害援助特論Ⅰ演習	2春		2			
	作業機能障害援助特論Ⅱ	1秋		2			
	作業機能障害援助特論Ⅱ演習	2秋		2			
	心身機能障害援助特論Ⅰ	1春		2	准教授 講師	狩長弘親 山本倫子	
	心身機能障害援助特論Ⅰ演習	2春		2			
	心身機能障害援助特論Ⅱ	1秋		2			
	心身機能障害援助特論Ⅱ演習	2秋		2			
総合	特別研究Ⅰ	1秋	4		教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 准教授 准教授 准教授 講師	指導教員 指導教員 指導教員 指導教員 指導教員 指導教員 指導教員 指導教員 指導教員 指導教員 指導教員 指導教員 指導教員 指導教員 指導教員 指導教員 指導教員 指導教員 指導教員	岩田美幸 掛谷益子 片岡弘明 河村顕治 京極真 竹﨑和子 中嶋正明 中瀬克己 原田和宏 樋口博之 森芳史 山形真由美 鷲尾佳奈 市村美香 井上茂樹 井上優 狩長弘親 寺岡睦 三宅優紀
	特別研究Ⅱ	2春	4		教授 准教授 准教授 准教授 講師 講師 講師 講師	指導補助教員 指導補助教員 指導補助教員 指導補助教員 指導補助教員 指導補助教員 指導補助教員 指導補助教員	磯濱亜矢子 門倉康恵 兼田啓子 安福真弓 太田泰子 熊岸加苗 山本倫子 宮武一江

注：専門選択科目は研究指導教員が担当する特論と特論演習を一連の科目として履修（8単位）する。
残りの4単位については、共通科目、専門選択科目から区分にかかわらず履修することができる。

博士（前期）課程修了要件

大学院に2年以上在学し、共通科目10単位以上、専門選択科目8単位以上、総合科目8単位、合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該大学院の行う修士論文の審査に合格することとする。

９．保健科学研究科博士（後期）課程の概要・カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）

保健科学研究科博士（後期）課程の概要

本研究科博士（後期）課程では、保健科学領域で活躍することができる教育研究者の養成に重点を置くことにしている。現在、保健科学領域は、従来の医科学研究からの分離独立をなし始めている新しい領域とも言える。その背景として、現在の保健科学領域においては、医療のみで完結することはなく、保健、福祉領域を含めた広範囲にわたる活動が重要になってきている。介護予防を含めて、医療以前の予防的保健活動、そして活動終了後の継続的な保健活動が不可欠である。また、「Evidence Based Health-Care」として、根拠に基づいた保健活動が重要とされているが、評価に値する十分な根拠が存在しないのが現実である。この現象は、我が国にとって憂慮すべきことであり、早急な研究成果が求められている。

本研究科で対象としている保健科学とは、健康の維持と疾病･障害の予防、患者ケア、生命科学、心身の機能回復・維持・増進、機能の代償・補完を主とする学問領域であると考えている。すなわち、個人または集団の健康維持と疾病の予防及び身体的・精神的・社会的・倫理的観点から総合的に研究する学問領域であり、これらの学問領域において、国際的にも貢献できる根拠を見いだすことができる教育研究者を養成しようとするものである。

また、より高度化する医療、高齢社会がもたらす種々の保健・福祉問題に対峙した時、国民のより高いQOLを目指した社会支援を実施できる専門家として、従来の医学モデルに基づくだけでなく、生活モデルとしての援助を立案・提供できる専門家の需要にも応え得るものであると考えている。学位取得に向けた教育課程は、「基礎保健科学領域」「臨床保健科学領域」「地域保健科学領域」「保健看護科学領域」の４領域から構成する。「基礎保健科学領域」には分子生物学、細胞組織学を、「臨床保健科学領域」には運動機能学、障害評価学及び機能回復学を、「地域保健科学領域」には、リハビリテーション援助学及び障害構造学と自立支援学を、「保健看護科学領域」には保健看護科学特講を設ける。

これらの４領域10科目から成る専門教育・研究に基づく研究活動の総括として、保健科学特殊研究を位置づけ、院生の博士論文作成に係る研究･指導を行い、研究科に３年以上在学した上で、所定の単位を修得し、博士論文を提出し、その審査に合格した者に対しては、博士（保健学）の学位を授与することを基本とする。

博士論文が満たすべき要件については「博士論文審査」の項で定めるが、査読制度のある雑誌に掲載された論文の内容を含んで独自に作成されたものであることが求められる。

なお、「教育学領域」は、本研究科博士（後期）課程において将来的に専任教員として活躍できる教育研究者を養成するために設置した科目である。希望する大学院生は「基礎保健科学領域」「臨床保健科学領域」「地域保健科学領域」「保健看護科学領域」のうち１領域から１科目２単位以上、および「保健科学特殊研究」12単位の計14単位を履修登録したうえで、必要に応じて教育学領域の科目を履修することができる。

カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）

●保健科学研究科　保健科学専攻　博士（後期）課程

授業科目名		開講年次	単位数	職名	担当教員氏名
基礎保健科学領域	分子生物学特講	1	2	教授	森　芳史
	細胞組織学特講	1	2	准教授	井上茂樹
臨床保健科学領域	運動機能学特講	1	2	教授 教授 教授	河村顕治 中嶋正明 樋口博之
	障害評価学特講	1	2	教授 教授	片岡弘明 河村顕治
	機能回復学特講	1	2	教授 准教授	森　芳史 井上　優
地域保健科学領域	リハビリテーション援助学特講	1	2	教授	原田和宏
	障害構造学特講	1	2	准教授	井上　優
	自立支援学特講	1	2	教授 教授 准教授	京極　真 原田和宏 寺岡　睦
保健看護科学領域	保健看護科学特講	1	2	教授 教授 教授	中瀬克己 山形真由美 鷲尾佳奈
教育学領域	教育方法技術特論Ⅰ	1	2	教授 教授 教授	岩田美幸 掛谷益子 京極　真
	教育方法技術特論Ⅱ	1	2	教授 教授 准教授	竹﨑和子 原田和宏 井上茂樹
保健科学特殊研究		1～3	⑫	教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 准教授 准教授	指導教員 片岡弘明 指導教員 河村顕治 指導教員 京極　真 指導教員 中嶋正明 指導教員 中瀬克己 指導教員 原田和宏 指導教員 樋口博之 指導教員 森　芳史 指導教員 山形真由美 指導教員 鷲尾佳奈 指導教員 井上茂樹 指導教員 井上　優 指導教員 寺岡　睦 指導補助教員 狩長弘親
必修科目12単位、選択必修科目２単位以上　合計14単位以上修得					

※○数字は必修。なお、教育学領域の履修には「基礎保健科学領域」「臨床保健科学領域」「地域保健科学領域」「保健看護科学領域」のうち１領域から１科目２単位以上、および「保健科学特殊研究」12単位の計14単位を履修登録している必要がある。

Ⅳ　心理学研究科　心理学専攻

博士（前期）課程・博士（後期）課程

i　募集要項

1．募集課程・募集定員及び修業年限

研　究　科	専　　攻	課　　程	募集定員	修業年限
心理学研究科	心　理　学　専　攻	博士（前期）課程	15名	2年
		博士（後期）課程	2名	3年

2．選考方法及び試験時間割

(1)　心理学専攻　博士（前期）課程

筆記試験、面接、書類審査を総合して選考する。

時　　間	試　　験　　内　　容
9：30～	受験上の注意、受験者の確認
9：40～10：40	心理学概論
10：50～11：50	英語（辞書持ち込み可、ただし電子辞書は不可）
12：00～	面接（専攻分野・研究分野について）

(2)　心理学専攻　博士（後期）課程

筆記試験、面接、書類審査を総合して選考する。

時　　間	試　　験　　内　　容
9：30～	受験上の注意、受験者の確認
9：40～10：40	心理学
10：50～11：50	英語（辞書持ち込み可、ただし電子辞書は不可）
12：00～	面接（提出論文を中心とする）

3．入試会場

順正学園　駅前キャンパス（岡山市北区岩田町２－５ ）

※入試会場については７ページを参照。

4．出願書類等

(1)　【博士（前期）課程】・【博士（後期）課程】

①志願票・受験票【本学所定用紙】

②成績証明書（厳封したもの）

③**【博士（前期）課程】**卒業（見込み）証明書、**【博士（後期）課程】**修了（見込み）証明書

④**【博士（前期）課程】**卒業論文概要、又はそれに相当するもの

（任意のＡ４判用紙に論文形式で記述すること）

【博士（後期）課程】修士論文の写し、又は実社会における研究活動報告書

⑤研究計画書【本学所定用紙】

⑥健康診断書（任意の医療機関の様式で可。本学学部生・修士生は、大学学生課が発行する健康診断証明書で可）

※検診例（身長、体重、視力、聴力、尿検査、Ｘ線検査、診察所見など）

⑦返信用宛名シール

⑧入学検定料　30,000円

※社会人として受験する場合には、勤務先等の長の受験許可書（様式は任意）を添付すること。添付できない場合には、その事情を任意の用紙へ記入して提出すること。

※公認心理師コースに入学して公認心理師受験資格の取得を希望する者は、省令に定める科目を４年制大学で修得していない場合、博士（前期）課程の公認心理師受験資格に必要な単位数を取得して修了したとしても、公認心理師受験資格は得られません。公認心理師受験資格を希望する者は事前に在籍している大学の担当教員・担当部署に省令に定めた科目を取得しているか確認の上、出願して下さい。博士（前期）課程の心理学コースでは、大学卒業（卒業見込）が大学院の受験資格になります。

５．出願方法及び出願先

⑴　出願方法

前項４．の出願書類一式を「簡易書留速達」で郵送するか、持参して下さい。出願書類受付完了後、受験票を送付します。

※身体的理由等により、受験の際に特別な配慮が必要となる場合は、出願１ヶ月前までに入試広報室へ相談して下さい。

※本研究科へ出願する場合、事前（博士（後期）課程は12月末まで）に必ず入試広報室へお問い合わせ下さい。
計画している研究内容について、事前に本研究科の指導希望教員と打ち合わせて頂く事が必要です。

⑵　出願先

〒700-0022　岡山県岡山市北区岩田町２－５

吉備国際大学　入試広報室

６．合格発表及び入学手続

⑴　合格発表

合否結果については、合格・不合格にかかわらず本人宛に郵便で通知し、学内掲示による合格者の発表は行いません。なお、電話等による合否の問い合わせは受け付けません。

⑵　入学手続

合格者には、合格通知とともに「入学手続の手引」を送付しますので、よく読んで指定の期日までに手続を完了して下さい。期日までに手続が完了されない場合は、入学辞退として取り扱います。

①学費の納入

入学手続締切日までに、本学所定の振込用紙で指定銀行へ納入して下さい。

※入学手続時の学費納入は、入学金と春学期納付金（前期分）の授業料の合計額を納入いただきます。

②提出書類

2027年３月23日㈫までに、次の書類を提出して下さい。

ａ．誓約書【本学所定用紙】

ｂ．写真１枚（縦４cm×横３cm）

ｃ．**【博士（前期）課程】**卒業証明書、**【博士（後期）課程】**修了証明書

※出願時に卒業見込み証明書を提出した者のみ。

ｄ．その他本学が指示する書類

⑶　入学辞退

Ⅰ期～Ⅳ期＜博士前期＞、博士後期課程＜博士後期＞で合格し、入学手続後に入学を辞退し、納付金の返還を希望する者は、2027年３月31日㈬16時までに所定の申請書と入学辞退届（任意のＡ４判様式）を提出して下さい。返還申請書を確認後、入学金以外の春学期（前期）分学費を返還する処置をとります。

※上記の日時までに返還申請書の提出がなかった場合は返還できませんのでご注意下さい。

７．学費（2027年度）

博士（前期）課程・博士（後期）課程

入　学　金	140,000	単位：円	
費　目	春学期納付金（前期分）	秋学期納付金（後期分）	合　計
授　業　料	492,000	492,000	984,000
合　計	492,000	492,000	984,000

※本学学部からの博士（前期）課程進学者及び本学修士課程･博士（前期）課程からの博士（後期）課程進学者については、入学金を免除します。

８．心理学研究科博士（前期）課程の概要・カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）

心理学研究科博士（前期）課程の概要

一人ひとり個々の生活様式の向上、また社会全体の整備は、時として緩急を織り交ぜながらも、漸進しているように思われる。例えば、1990 年～2000 年と比較して、個人レベルでは、生活水準の向上や生活様式の多様性、自由・平等・民主主義思想の更なる定着、医療技術の革新による疾病の治癒や寿命の延伸等々が成し遂げられてきた。また、社会レベルでは、運輸・通信の高速化、情報機器の進歩やメディアの多様化、インフラ整備などから窺えるように、経済、通信、医療、教育、福祉等々、広範な分野にわたる選択肢の増加と利便性の増大がそれぞれ実感できるようになった。

これらは、すべて人間の行動の賜物である。そして、それらの行動を惹起する基礎となるのが人間の意識全般である。すなわち、目標を達成しようとする意欲はもちろんのこと、感性･記憶･認知・感情・思考・創造性など、意識とそれに基づく行動とは連動していることが多い。こうした意識に基づく行動の結果として社会の発展や科学技術の進歩が促進され、物質的供給の拡大や日常生活の快適性が増したあまり、先進国の一部の人々の中には際限なき欲望の充足にただ奔走しているとしか思えない面さえ窺われるようになった。更に、急速な発展・変容を遂げた社会の中にあって、人間関係・人間理解の歪み、精神的脆弱さや発達の停滞・遅滞といった「陰」の部分も目立ってきた。その結果、人間相互の信頼できる温かな関係を築けない人々は、社会環境に馴染めなかったり、調整することができなかったりして、量り知れないストレスと精神的負荷に曝され心理的不適応を拡大しつつある。

このように科学技術や経済、文化の発展を担ってきたpositive な心理過程から、その発展の陰で適応しきれずに疲弊しているnegative な心理過程まで、広範に検討することのできる理論と応用の科学として、また、人文科学・社会科学・自然科学との学際を融合・発展させる核として、今日の心理学を位置づけることができる。

本学の心理学研究科は、このような広範囲にわたる心理学界の発展のために、高度な理論研究とそれらを基礎とする応用的な臨床実践を目指そうと意気込んでいる人々に門戸を開いている。と同時に、高等教育機関として相応しいカリキュラムを編成し、高邁な教育目標に沿って社会に有意な人材を輩出するよう努めている。教育課程として､「公認心理師コース」と「心理学コース」の２コースを設け、それぞれのコースが目指す人材の育成のために必要な、特色のある教育・研究を行っている。

公認心理師コースの概要

「公認心理師コース」は、不適応を起こしている心理・精神過程を適応に向けた支援や援助を行うための方法、すなわち心理アセスメントと検査・カウンセリング・心理療法といった臨床心理学的な理論・技法を習得し、臨床活動に携わる「こころ」のケアの専門家を養成する教育課程

である。新たな国家資格として誕生した「公認心理師」は、これからの日本社会で、教育、福祉、医療・保健、司法・犯罪、産業の各種分野において、過度のストレスによって環境への適応に苦悩している人たちを支え、援助することのできる高度職業専門職として国が保証する資格である。不適応状態にある人々を支え、是正していく気鋭の実践家を養成する。

本学の公認心理師コースの教育課程は、「公認心理師」の受験資格を得ることのできるカリキュラム構成となっている。本コースの修了要件は、必修科目と選択必修科目の所定単位を取得した上で、修士論文の提出が必須となっている。国家資格である「公認心理師」受験資格を取得するには、上記の修了要件のほかに、特定の「心理実践実習」を加えた単位数を取得することが必要となる。ただし、「公認心理師」受験資格を得るには、学部卒業段階で所定の心理学専門教育の単位認定を受けた学士であることが前提となる。本学では、2019年度入学者からは、「公認心理師」受験資格を得るためのカリキュラム編成となっている（修了しても「臨床心理士」受験資格は得られない。「公認心理師」受験資格は、課程修了要件の単位修得に加えて、特定の選択科目の単位修得が必要である点に注意していただきたい）。

心理学コースの概要

「心理学コース」では、感覚・知覚・認知・記憶・学習・対人関係・態度などの心理過程を実験・調査・観察等により、客観的なデータの収集・分析・解釈を通して、既成の心理学理論の検証や新たな仮説の構築を行うことで、人間という深遠な認識システムの理解に向けて、様々な角度から接近することのできる専門家を養成する。

本コースにおける科目は、必修科目と選択必修科目からなる。必修科目としては、データの収集、分析、考察に至る研究プロセスを理解する「心理学研究法特論」と「実験心理学特論」、「学習心理学特論」、「認知心理学特論」、修士論文を完成させるための「特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」が配当されている。この他、選択必修科目としては、客観的なデータを処理・分析するために必要な「心理統計法特論」をはじめ、心理学基礎理論が学修できる「生涯発達心理学特論」、「社会心理学特論」、などの基本的な心理学分野それぞれにおける各論、及び心の容れ物としての脳の機能に関連した「高次脳機能特論」、「生理心理学特論」、それに広範な環境内の人間行動を理解するための「社会心理学特論」、「健康心理学特論」、「異常心理学特論」等が用意されている。必修科目10単位、選択必修科目22単位の計32単位修得を修了要件とし、心理学的な理論の検証を推し進めていくための高度な心理学方法論が学修可能である。

カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）

●心理学研究科　心理学専攻　博士（前期）課程

	授業科目名	単位数 必修	単位数 選択	職名	担当教員氏名
専攻共通科目	心理学研究法特論	2		教授	田中共子
	特別研究Ⅰ	2		教授 教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 准教授 講師	指導教員 田中共子 指導教員 津川秀夫 指導教員 橋本翠 指導教員 藤原直子 指導教員 森井康幸 指導教員 宇都宮真輝 指導教員 土居正人 指導教員 村上勝典 指導補助教員 若森孝彰
	特別研究Ⅱ	2			
	特別研究Ⅲ	2			
	特別研究Ⅳ	2			
公認心理師コース	臨床心理学特論 ◎		2	講師	若森孝彰
	＊心理的アセスメントに関する理論と実践 ◎		2	准教授	土居正人
	＊心理支援に関する理論と実践 ◎		2	教授	津川秀夫
	＊保健医療分野に関する理論と支援の展開		2	非常勤講師	森信繁
	＊福祉分野に関する理論と支援の展開		2	教授 准教授	藤原直子 村上勝典
	＊教育分野に関する理論と支援の展開		2	教授	森井康幸
	＊司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開		2	教授	藤原直子
	＊産業・労働分野に関する理論と支援の展開		2	非常勤講師	福崎俊貴
	＊家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践		2	准教授	宇都宮真輝
	＊心の健康教育に関する理論と実践		2	教授	藤原直子
	＊心理実践実習Ⅰ		5	教授 教授 准教授 准教授 准教授 講師	津川秀夫 藤原直子 宇都宮真輝 土居正人 村上勝典 若森孝影
	＊心理実践実習Ⅱ		5		
心理学コース	実験心理学特論 ○		2	教授 教授	橋本翠 森井康幸
	認知心理学特論 ○		2	教授	橋本翠
	学習心理学特論 ○		2	教授	森井康幸
	心理統計法特論		2	教授	橋本翠
	感情心理学特論		2	准教授	村上勝典
	生理心理学特論		2	教授	橋本翠
	社会心理学特論		2	教授	田中共子
	健康心理学特論		2	准教授	村上勝典

授業科目名		単位数 必修	単位数 選択	職名	担当教員氏名
心理学コース	老人心理学特論		2	講師	若森孝彰
	生涯発達心理学特論		2	非常勤講師	三宅俊治
	人格心理学特論		2	准教授	土居正人
	異常心理学特輪		2	教授	藤原直子
	高次脳機能特論		2	非常勤講師	田尻直輝

博士（前期）課程修了要件：必修科目10単位、及び選択コースの必修科目６単位を含む22単位以上、合計32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

＊は、公認心理師受験資格に必要な科目
◎は、公認心理師コース選択者必修
○は、心理学コース選択者必修
※上記、心理実践実習Ⅰ～Ⅴは、90時間の実習

９．心理学研究科博士（後期）課程の概要・カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）

心理学研究科博士（後期）課程の概要

本学心理学研究科博士（後期）課程では、博士（心理学）の学位を取得するのが目標となる。独創性・新奇性・論理性・客観性を有し、心理学界の発展に寄与する学術研究に対して博士号が授与される。

博士論文作成に係わる研究・指導は、「心理学研究指導」として３年間継続して行われる。関連研究の概観、方法論の検討、データの解析など、研究科に在籍する３年間で論文の構成を行う。

本学の博士（後期）課程では、博士（前期）課程を修了してさらに高度な研究能力を涵養するために、「心理学研究指導」とは別に、心理学基礎領域と、心理学応用領域それぞれの専門科目の履修を課している。それは、心理学基礎分野、及び臨床心理学分野の博士（前期）課程または修士課程修了生で、将来、研究者として専門的な研究を推し進めようと意図している者、また、臨床心理学分野で、専門職に就きながら、データに基づいた高度な心理学的分析を行い、博士の学位を請求しようとする者にとって、有用なカリキュラム構成となっている。

配備された２領域のうち、「心理学基礎領域」では、高次脳機能研究、認知生理心理学研究、認知行動心理学研究の３科目のうち１科目以上を選択し、各領域における理論や方法論、それにデータ分析の論理性を修得する。「心理学応用領域」では、臨床行動心理学研究、心理療法学研究、臨床健康心理学研究の３科目のうち１科目以上を選択し、臨床心理学的実践に関するデータの扱いや理論的な枠組み、そして方法論について学修する。

これら２領域から各１科目以上計２科目以上を修得することによって、結果として、固有の領域に限らない心理学全般の視野を養い、広範な心理学的研究の進め方を検討・吟味することのできる人材を養成することが本研究科博士（後期）課程の特徴である。

所定の単位を取得し、博士論文を提出し、その審査に合格した者に対して、博士（心理学）の学位を授与する。

カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）

●心理学研究科　心理学専攻　博士（後期）課程

授業科目名		配当年次	単位数 必修	単位数 選択	職名	担当教員氏名	
心理学基礎領域	高次脳機能研究	1・2・3		2	非常勤講師	田尻直輝	
	認知生理心理学研究	1・2・3		2	教授	橋本翠	
	認知行動心理学研究	1・2・3		2	教授	森井康幸	
心理学応用領域	臨床行動心理学研究	1・2・3		2	准教授	土居正人	
	心理療法学研究	1・2・3		2	教授	津川秀夫	
	臨床健康心理学研究	1・2・3		2	准教授	村上勝典	
心理学研究指導		1～3	12		教授 教授 准教授 教授 准教授	指導教員 指導教員 指導教員 指導補助教員 指導補助教員	橋本翠 森井康幸 土居正人 津川秀夫 村上勝典

博士（後期）課程修了要件

各領域から１科目２単位以上、必修科目１科目12単位、合計16単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該大学院の行う博士論文の審査に合格することとする。

Ⅴ　地域創成農学研究科　地域創成農学専攻

博士（前期）課程・博士（後期）課程

i　募集要項

1．募集課程・募集定員及び修業年限

研　究　科	専　　攻	課　　程	募集定員	修業年限
地域創成農学研究科	地域創成農学専攻	博士（前期）課程	4名	2年
		博士（後期）課程	2名	3年

※募集定員には外国人留学生を含む。

2．選考方法及び試験時間割

(1)　地域創成農学専攻　博士（前期）課程

筆記試験、面接、書類審査を総合して選考する。

時　　間	試　　験　　内　　容
9：30～	受験上の注意、受験者の確認
9：40～11：10	専門科目　※
11：20～12：50	英　語
12：50～13：30	昼休憩
13：30～	面接（専攻分野・研究分野について）

※専門科目は、「栽培・育種学分野」「植物保護学分野」「食品機能開発化学分野」「農業経済学分野」「地域環境学分野」「水圏生物学」からそれぞれ1問を出題する。任意の2問を選択して解答する。
※研究業績のある社会人対象者は、事前申告により専門科目に代えて農学に関する小論文を課す。

(2)　地域創成農学専攻　博士（後期）課程

筆記試験、口頭試問、書類審査を総合して選考する。

時　　間	試　　験　　内　　容
9：30～	集合・受験上の注意
9：40～11：10	専門科目　※
11：20～12：50	英　語
12：50～13：30	昼休憩
13：30～	口頭試問

※専門科目は、次の4専門種目から1種目を選択すること。専門種目：「栽培・育種学」「植物保護管理学」「食品機能開発化学」「地域経済社会学」「地域環境保全学分野」「地域水産学分野」。専門科目は志望する専門種目から出題する。
※社会人入学を希望する者は、事前申告により専門科目に代えて専門種目に関する小論文を課す。

3．入試会場

吉備国際大学　南あわじ志知キャンパス（兵庫県南あわじ市志知佐礼尾370－1）

※入試会場については7ページを参照。

４．出願書類等

(1) 博士（前期）課程・博士（後期）課程

①志願票・受験票【本学所定用紙】

②成績証明書（厳封したもの）

③**【博士(前期)課程】**卒業(見込み)証明書、**【博士(後期)課程】**修了(見込み)証明書

④**【博士(前期)課程】**卒業論文概要、又はそれに相当するもの（任意のＡ４判用紙に論文形式で記述すること）

【博士(後期)課程】修士論文概要又はそれに相当するもの

⑤研究計画書【本学所定用紙】

⑥健康診断書（任意の医療機関の様式で可。本学学部生は、大学学生課が発行する健康診断証明書で可）

※検診例（身長、体重、視力、聴力、尿検査、Ｘ線検査、診察所見など）

⑦返信用宛名シール

⑧入学検定料　30,000円

※社会人として受験する場合には、勤務先等の長の受験許可書（様式は任意）を添付すること。添付できない場合には、その事情を任意の用紙へ記入して提出すること。

※外国人留学生は、次のａ～ｈの書類を提出すること。

ａ．学歴・職歴・過去の日本国への入国歴について【本学所定用紙】

ｂ．住民票（在留カードの表裏それぞれのコピーでも可）

ｃ．経費支弁書（学納金の納入者自身が支弁方法を記入すること。外国語でも可能）

ｄ．経費支弁書の添付書類(本学所定の経費支弁書に記入された証明書類を添付すること。「支弁者在職証明書」･「支弁者預金残高証明書」・その他)

ｅ．日本語能力を確認する書類（日本語能力認定書のコピー又は本学所定用紙・本学出身者は省略可）

ｆ．日本国内の在学校が発行する外国人留学生推薦書【本学所定用紙】（本学学部出身者は省略可）

ｇ．身元保証書【本学所定用紙】(本学学部から直接進学する者は省略可。ただし、一旦帰国・就職・他大学の進学をした者は提出が必要)

ｈ．その他、本学が指示する書類（必要により、追って指示する）

５．出願方法及び出願先

⑴　出願方法

前項４．の出願書類一式を「簡易書留速達」で郵送するか、持参して下さい。出願書類受付完了後、受験票を送付します。

※身体的理由等により、受験の際に特別な配慮が必要となる場合は、出願１ヶ月前までに入試広報室へ相談して下さい。

※外国人留学生への、出願手続・合格発表・入学手続・入学許可書交付等は、原則として在学校・保証人・事前に定めた連絡窓口等を通して行います（本学学部生は、本人から直接受け付けます）。第三者による取次はできませんのでご注意下さい。

在留資格更新の期限等に差し支える場合には、出願前に入試広報室へ相談して下さい。

※本研究科へ出願する場合、事前（博士（後期）課程は12月末まで）に必ず入試広報室へお問い合わせ下さい。
計画している研究内容について、事前に本研究科の指導希望教員と打ち合わせて頂く事が必要です。

⑵　出願先

〒700-0022　岡山県岡山市北区岩田町２－５

吉備国際大学　入試広報室

６．合格発表及び入学手続

⑴　合格発表

合否結果については、合格・不合格にかかわらず本人宛に郵便で通知し、学内掲示による合格者の発表は行いません。なお、電話等による合否の問い合わせには応じられません。

※外国人留学生は、原則として在学校・保証人・事前に定めた連絡窓口等へ通知します（本学学部生へは本人宛に郵便で通知します）。第三者からの問い合わせには応じられません。

⑵　入学手続

合格者には、合格通知とともに「入学手続の手引」を送付しますので、よく読んで指定の期日までに手続を完了して下さい。期日までに手続が完了されない場合は、入学辞退として取り扱います。

⑶　入学辞退

Ⅰ期～Ⅳ期＜博士前期＞、博士後期課程＜博士後期＞で合格し、入学手続後に入学を辞退し、納付金の返還を希望する者は、2027年３月31日㈬16時までに所定の申請書と入学辞退届（任意のＡ４判様式）を提出して下さい。返還申請書を確認後、入学金以外の春学期（前期）分学費を返還する処置をとります。

※上記の日時までに返還申請書の提出がなかった場合は返還できませんのでご注意下さい。

〈一般・社会人〉

①学費の納入

入学手続締切日までに、本学所定の振込用紙で指定銀行へ納入して下さい。

※入学手続時の学費納入は、入学金と春学期納付金（前期分）の授業料の合計額を納入いただきます。

②提出書類

2027年３月23日㈫までに、次の書類を提出して下さい。

ａ．誓約書【本学所定用紙】

ｂ．写真１枚（縦４cm×横３cm）

ｃ．卒業証明書　※出願時に見込み証明書を提出した者のみ。

ｄ．その他本学が指示する書類

〈外国人留学生〉

（日本国内の在住者）

①学費の納入

入学手続締切日までに、本学が指定する口座へ、経費支弁者等から銀行送金して下さい。

口座番号等は、「入学手続の手引」にてお知らせします。

送金状況や送金名義が本学で確認できるように、銀行の送金伝票をFAXして下さい。

なお、現金の受付は原則としてできませんので、注意して下さい。

②提出書類

ａ．誓約書【本学所定用紙】

ｂ．経費支弁者誓約書【本学所定用紙】

ｃ．写真１枚（縦４cm×横３cm）

ｄ．出身校の卒業証明書：卒業後に提出

ｅ．住民票（在留カードの表裏それぞれのコピーでも可）：在留資格更新、住所変更後に提出

ｆ．その他本学が指示する書類

入学許可書の発行について

入学許可書は、入学手続の締切日以降に、入学手続が完了している者へ在学校・保証人を通じて(本学学部生は現住所へ)、郵送します。原則として窓口での交付はしません。

また、経費支弁能力等に疑義が認められた場合や提出書類に不備がある場合は、入学許可書の発行を中止することがあります。

なお、在留資格の更新にあたっては、在学校担当部署によく相談の上、手続をすすめて下さい。

(日本国外の在住者)

出願がなされた段階で、別途、日程等を案内します。

7．学費（2027年度）

博士（前期）課程・博士（後期）課程

入　学　金	140,000	単位：円	
費　目	春学期納付金(前期分)	秋学期納付金(後期分)	合　計
授　業　料	655,000	655,000	1,310,000
合　計	655,000	655,000	1,310,000

※本学学部からの博士（前期）課程進学者及び本学修士課程･博士（前期）課程からの博士（後期）課程進学者については、入学金を免除します。

8．地域創成農学研究科博士（前期）課程の概要・カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）

地域創成農学研究科博士（前期）課程の概要

わが国においては「地方創生」が大きなテーマとなっており、多くの関心が寄せられている。その課題解決のためには、今日、衰退に直面している日本の多くの地域社会を再生し、新たな形で創成していくことが求められている。したがって、農村地域の創成を担う優秀な人材の育成は、今日の我が国の高等教育機関に課せられた喫緊の課題の一つであると考えている。

そこで、本専攻は、農業及び水産業における生産、食品加工、農業経営全般にわたる知識と技術を幅広く身につけることを基礎として、地域社会や国際社会における農水産業の状況や位置づけを的確に捉え、専門分野の探求によって培った知識や技術を通して、地域社会の活性化に寄与できる高度な専門的職業人の育成を目的としている。このため本研究科の教育課程科目構成は、「栽培･育種学」、「植物保護学」、「食品機能開発化学」、「農業経済学」、「地域環境学」及び「水圏生物学」の６分野を置くこととし、関連分野に関する基礎的素養の涵養を目指す科目群として、「専攻共通科目」を設ける。

［専攻共通科目］

地域創成農学特論	地域創成農学特別講義Ⅰ
地域創成水産学特論	地域創成農学特別講義Ⅱ
国際農業学特論	地域創成農学特別講義Ⅲ
国際水産学特論	地域創成農学特別講義Ⅳ
	地域創成農学特別講義Ⅴ
	地域創成農学特別講義Ⅵ

［専門分野］

栽培・育種学特論Ⅰ	経済社会学特論Ⅰ
栽培・育種学特論Ⅱ	経済社会学特論Ⅱ
栽培・育種学演習	経済社会学演習
植物保護学特論Ⅰ	地域環境学特論Ⅰ
植物保護学特論Ⅱ	地域環境学特論Ⅱ
植物保護学演習	地域環境学演習
食品機能開発化学Ⅰ	水圏生物学特論Ⅰ
食品機能開発化学Ⅱ	水圏生物学特論Ⅱ
食品機能開発化学演習	水圏生物学演習

（総合）

特別研究

本専攻修了者の進路としては、国及び地方自治体の研究職公務員、農業協同組合、種苗会社、農薬会社、食品製造･加工会社、食品流通会社等の、専門知識と技術を持つ専門職職員を必要とする分野を想定している。

カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）
※2027年度生より、カリキュラムを変更予定。
●地域創成農学研究科　地域創成農学専攻　博士（前期）課程

授業科目名		配当年次	単位数		職名	担当教員氏名
			必修	選択		
専攻共通科目	地域創成農学特論	1春	2		教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 講師 講師 講師	相野公孝 土佐幸雄 桧原健一郎 末吉秀二 平井順 松原茂仁 村上二朗 森野真理 金沢功 許冲 阪上洸多
	地域創成水産学特論	1春	2		教授 教授 教授 教授 教授 准教授 講師	堀豊 濱野龍夫 布川雅典 畑間俊弘 原田恭行 森紗綾香 林将也
	国際農業学特論	1秋	2		教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 講師 講師 講師	相野公孝 土佐幸雄 桧原健一郎 末吉秀二 平井順 松原茂仁 村上二朗 森野真理 金沢功 許冲 阪上洸多
	国際水産学特論	1秋	2		教授 教授 教授 教授 教授 准教授 講師	堀豊 濱野龍夫 布川雅典 畑間俊弘 原田恭行 森紗綾香 林将也
	地域創成農学特別講義Ⅰ	2秋		1	教授 講師	桧原健一郎 許冲
	地域創成農学特別講義Ⅱ	2秋		1	教授 教授 教授	相野公孝 土佐幸雄 村上二朗
	地域創成農学特別講義Ⅲ	2秋		1	教授 講師 講師	原田恭行 金沢功 林将也

授業科目名		配当年次	単位数		職名	担当教員氏名
			必修	選択		
専攻共通科目	地域創成農学特別講義Ⅳ	2秋		1	教授 教授 教授	末吉秀二 平井順 松原茂仁
	地域創成農学特別講義Ⅴ	2秋		1	教授 教授 准教授 講師	森野真理 布川雅典 森紗綾香 阪上洸多
	地域創成農学特別講義Ⅵ	2秋		1	教授 教授 教授	堀豊 濱野龍夫 畑間俊弘
専門科目	栽培・育種学特論Ⅰ	1春		2	教授 講師	桧原健一郎 許冲
	栽培・育種学特論Ⅱ	2春		2	教授 講師	桧原健一郎 許冲
	栽培・育種学演習	1~2通		8	教授 講師	桧原健一郎 許冲
	植物保護学特論Ⅰ	1春		2	教授 教授 教授	相野公孝 土佐幸雄 村上二朗
	植物保護学特論Ⅱ	2春		2	教授 教授 教授	相野公孝 土佐幸雄 村上二朗
	植物保護学演習	1~2通		8	教授 教授 教授	相野公孝 土佐幸雄 村上二朗
	食品機能開発化学Ⅰ	1春		2	教授 講師 講師	原田恭行 金沢功 林将也
	食品機能開発化学Ⅱ	2春		2	教授 講師 講師	原田恭行 金沢功 林将也
	食品機能開発化学演習	1~2通		8	教授 講師 講師	原田恭行 金沢功 林将也
	経済社会学特論Ⅰ	1春		2	教授 教授 教授	末吉秀二 松原茂仁 平井順
	経済社会学特論Ⅱ	2春		2	教授 教授 教授	末吉秀二 松原茂仁 平井順
	経済社会学演習	1~2通		8	教授 教授 教授	末吉秀二 松原茂仁 平井順

授業科目名		配当年次	単位数 必修	単位数 選択	職名	担当教員氏名
専門科目	地域環境学特論Ⅰ	1春		2	教授 教授 准教授 講師	森野真理 布川雅典 森紗綾香 阪上洸多
	地域環境学特論Ⅱ	2春		2	教授 教授 准教授 講師	森野真理 布川雅典 森紗綾香 坂上洸多
	地域環境学演習	1～2通		8	教授 教授 准教授 講師	森野真理 布川雅典 森紗綾香 阪上洸多
	水圏生物学特論Ⅰ	1春		2	教授 教授 教授	堀豊 濱野龍夫 畑間俊弘
	水圏生物学特論Ⅱ	2春		2	教授 教授 教授	堀豊 濱野龍夫 畑間俊弘
	水圏生物学演習	1～2通		8	教授 教授 教授	堀豊 濱野龍夫 畑間俊弘
総合	特別研究	1～2通	8		教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 講師 講師 講師 講師	指導教員 相野公孝 指導教員 桧原健一郎 指導教員 土佐幸雄 指導教員 堀豊 指導教員 濱野龍夫 指導教員 平井順 指導教員 松原茂仁 指導教員 村上二朗 指導教員 森野真理 指導教員 布川雅典 指導教員 畑間俊弘 指導教員 原田恭行 指導教員 森紗綾香 指導補助教員 金沢功 指導補助教員 許冲 指導補助教員 阪上洸多 指導補助教員 林将也

博士（前期）課程修了要件

必修科目８単位、及び、所属分野の４科目20単位を含む合計32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

９．地域創成農学研究科博士（後期）課程の概要・カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）

地域創成農学研究科博士（後期）課程の概要

地域創成農学研究科博士（後期）課程は、栽培･育種学、植物保護管理学、食品機能開発化学、地域経済社会学、地域環境保全学及び地域水産学に関わる6学術分野及びそれら分野の学際領域に関して深い学識を持ったうえで、世界トップレベルの先端研究を自立して行える能力と高い倫理性を有し､国際的に活躍する高度学術研究者の養成を主たる目標とする。すなわち､博士(前期)課程では､「農業及び水産業における生産、食品加工、農業経営、環境学全般にわたる知識と技術を幅広く身につけることを基礎として、地域社会や国際社会における農水産業の状況や位置づけを的確に捉え、専門分野の探求によって培った知識や技術を通して、地域社会の活性化に寄与できる高度な専門的職業人の育成を目的とする」を目標としており、学術研究者ではなく、専門知識と技術を活かした特定の職業に従事する高度専門技術者の養成を目標としている。これに対して、博士（後期）課程では、博士（前期）課程で培った専門知識と技術を一層高度化させ、学術研究において世界トップレベルの先端研究を自立して行える能力を有し、高い倫理性と豊かな国際性を併せ持った学術研究者の養成を目的とする。

このため本研究科博士（後期）課程の教育課程における科目区分は、「栽培･育種学分野」、「植物保護管理学分野」、「食品機能開発化学分野」、「地域経済社会学分野」、「地域環境保全学分野」及び「地域水産学分野」の6分野別とし、さらに、関連分野に関する基礎的素養の涵養を目指す科目群として、「専攻共通科目」1科目を設けている。

これら科目から、「必修の専攻共通科目（地域創成農水産学フロントライン)」2単位、所属分野の3科目14単位を含む合計16単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、博士（農学）の学位を授与する。

カリキュラム表・担当教員一覧（2026年度）
※2027年度生より、カリキュラムを変更予定。

●地域創成農学研究科　地域創成農学研究科専攻　博士（後期）課程

授業科目名		単位数 必修	単位数 選択	配当年次	職名	担当教員氏名
専攻共通科目	地域創成農水産学フロントライン	2		1前	教授	相野公孝
					教授	桧原健一郎
					教授	氷見英子
					教授	末吉秀二
					教授	堀豊
					教授	濱野龍夫
					教授	平井順
					教授	松原茂仁
					教授	村上二朗
					教授	森野真理
					教授	土佐幸雄
					教授	布川雅典

授業科目名		単位数 必修	単位数 選択	配当年次	職名	担当教員氏名	
専攻共通科目	地域創成農水産学フロントライン	2		1前	教授 教授 准教授 講師 講師	畑間俊弘 原田恭行 森紗綾香 許冲 林将也	
栽培・育種学分野	栽培・育種学フロントライン		2	1後	教授 講師	桧原健一郎 許冲	
	栽培・育種学演習		12	1～3通			
	(栽培・育種学分野学位論文研究)		0	1～3通	教授 講師	指導教員 指導補助教員	桧原健一郎 許冲
植物保護管理学分野	植物保護管理学フロントライン		2	1後	教授 教授 教授	相野公孝 土佐幸雄 村上二朗	
	植物保護管理学演習		12	1～3通			
	(植物保護管理学分野学位論文研究)		0	1～3通	教授 教授 教授	指導教員 指導教員 指導教員	相野公孝 土佐幸雄 村上二朗
食品機能開発化学分野	食品機能開発化学フロントライン		2	1後	教授 講師	原田恭行 林将也	
	食品機能開発化学演習		12	1～3通			
	(食品機能開発化学分野学位論文研究)		0	1～3通	教授 講師	指導教員 指導補助教員	原田恭行 林将也
地域経済社会学分野	地域経済社会学フロントライン		2	1後	教授 教授 教授	末吉秀二 平井順 松原茂仁	
	地域経済社会学演習		12	1～3通			
	(地域経済社会学分野学位論文研究)		0	1～3通	教授 教授	指導教員 指導補助教員	平井順 松原茂仁
地域環境保全学分野	地域環境保全学フロントライン		2	1後	教授 教授 准教授	森野真理 布川雅典 森紗綾香	
	地域環境保全学演習		12	1～3通			
	(地域環境保全学分野学位論文研究)		0	1～3通	教授 教授 准教授	森野真理 布川雅典 森紗綾香	
地域水産学分野	地域水産学フロントライン		2	1後	教授 教授 教授	堀豊 濱野龍夫 畑間俊弘	
	地域水産学演習		12	1～3通			
	(地域水産学分野学位論文研究)		0	1～3通	教授 教授 教授	指導教員 指導教員 指導教員	堀豊 濱野龍夫 畑間俊弘

博士（後期）課程修了要件

必修科目２単位及び所属分野の３科目14単位を含む合計16単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

輝け、自分。羽ばたけ、未来へ。

吉備国際大学

Kibi International University